

『厚生文教常任委員会報告事項』

①平成25年度 厚生文教常任委員会 行政視察報告

- 1 視察日 平成25年11月11日(月)～13日(水)
- 2 視察地 宮城県大崎市、石巻市、東松島市、秋田県大仙市
- 3 視察者 副委員長：高田正人
委員：鈴木健一、関口武雄、蓮見 節、堀越博文、米山真澄
執行部：吉澤静子(健康福祉部長)
随 行：小野澤俊夫(議会事務局)

4 視察内容

(1) 宮城県 大崎市

- 1 大崎市民病院について

★(2) 石巻医療圏 健康・生活復興協議会、「祐ホームクリニック石巻」

- 1 在宅医療・介護の連携体制について
- 2 高齢先進国モデル構想について

(3) 宮城県 東松島市

- 1 厚生文教の視点から見た復興状況について

★(4) 秋田県 大仙市(市立大曲小学校)

- 1 総合的な学力育成の取組について
- 2 英語教育を軸にした小中連携について

*今回の議会報告会で発表する行政視察の内容は、

★印の2項目になります。



②市民病院の改築工事について

市民病院本館は、開設以来、40年が経過し耐震構造上問題が生じておりました。オーダリングシステム、電子カルテの本格的な稼働や、経営の効率化により、昨年度は9年度ぶりに経常収支の均衡が図られたことから、本館新築工事に着手することになりました。その額は、3年間で17億円となっております。

この工事により、比企地域の中核病院として、その役割を発揮することはもとより、地震などの災害時にも対応できるものと考えております。また、本格的な救急医療の再開に向けた施設整備も行い、更に、新築することで医師の招聘にも好影響が期待され、総合的により質の高い医療を提供することを目標としています。